

令和2年11月30日

各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

コロナ禍の第3波のために自粛ムードの世の中ですが、あつという間に年の瀬を迎えます。スタッフの皆様におかれましても来月は年末年始の繁忙期となりますが身体に留意しながらそれぞれの業務をしっかりと完遂いただきます事をお願い申し上げます。

さて、昔から「ピンチはチャンス」と言います。コロナウイルスを原因とする現在の未曾有の苦難の中にあってもその中には大きなプラスの芽がありますし、それが我が社の次の発展につながると思っています。コロナ禍の中でこそ「こういう可能性があったのか」と新たな気づきや発見もきつと生まれてくると思っています。

私が小学校の頃に読んだ小説で山本有三の「路傍の石」という作品があります。道徳の教科書にもよく出てきます。主人公の子供の「吾一」が様々な困難に立ち向かいながら真っ直ぐに成長していく話です。つまり生まれた環境というのは自分で努力して変えられるものではありません。自分ではどうしようもないことが世の中にはたくさんあります。主人公の吾一を取り巻く環境はかなり厳しいものでした。うまくいきそうになるといつも誰かが吾一の足を引っ張ります。それでも彼は決してくじけず一步一步自分の人生を力強く歩んでいきます。その小説の中で「艱難(かんなん)汝(なんじ)を玉にする」という言葉が出てきます。その意味は「人間は苦勞・困難を乗り越える事によって立派な人物になる」です。苦難こそが人間を成長させてくれる糧(かて)である一自分の体験を通じて本当にその通りだと思います。今回のコロナ禍は我が社に変革のチャンスをもたらしてくれたと考え、私どもの会社で働くすべてのスタッフの能力を最大限に生かしてより良い未来のために尽くしていきたいと考えます。

【社是】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

【モットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世のため人のため～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう。

草々